

生活環境と福祉の向上を...

各会計当初予算

(単位: 千円)

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	4,816,000
特 別 会 計	
国 民 健 康 保 険	78,500
後 期 高 齢 者 医 療	198,200
介 護 保 険	922,800
町 立 真 室 川 病 院 事 業	1,114,000
水 道 事 業	594,300
公 共 下 水 道 事 業	152,000
ま じ り 川 温 泉 梅 里 苑 事 業	88,000
合 計	7,963,800

問 町民課長
98・3%で郡内3位である。町民課長は、町民の生活向上に努める。町民課長は、町民の生活向上に努める。

答 町民課長
98・3%で郡内3位である。町民課長は、町民の生活向上に努める。町民課長は、町民の生活向上に努める。

問 町民課長
98・3%で郡内3位である。町民課長は、町民の生活向上に努める。町民課長は、町民の生活向上に努める。

答 町民課長
98・3%で郡内3位である。町民課長は、町民の生活向上に努める。町民課長は、町民の生活向上に努める。

問 防災力基盤強化事業の内容は、総務課長は、町民の生活向上に努める。町民課長は、町民の生活向上に努める。

答 総務課長
孤立しそうな集落の衛生携帯電話の配置、西郡・谷地の沢・塩根川に3台、役場に1台計4台、主に地



リニューアルにより誘客アップを図る梅里苑

問 町民課長
24年度末で金沢診療所医師が退職予定である。現状の医師体制では本院の負担が多く、最悪、金沢診療所は週2回の場合もありうる。今後とも、近隣の診療所等に打診していきたい。

答 町民課長
医師確保は最重要課題として捉えている。診療所は、患者の動向を調べながら、対応を含めて検討したい。

問 町民課長
24年度末で金沢診療所医師が退職予定である。現状の医師体制では本院の負担が多く、最悪、金沢診療所は週2回の場合もありうる。今後とも、近隣の診療所等に打診していきたい。

答 町民課長
医師確保は最重要課題として捉えている。診療所は、患者の動向を調べながら、対応を含めて検討したい。



委員長 佐藤 正美

予算審査特別委員長報告

本委員会は、平成24年度真室川町8会計総額約79億円の予算案について、慎重に審議し、可決しました。委員会審査の過程において、質疑された主な項目を報告します。

一般会計

- ・ 税収の確保を最重要課題として現年分課税や滞納繰越分の徴収努力。
- ・ 国、県の重要施策でもある新エネルギー政策について、当町に見合った資源の活用によるエネルギー政策への取り組み。
- ・ 深刻な人口減少問題に歯止めをかける施策と

以上、今年度予算が着実に執行され、町民の生活環境と福祉向上に寄与することを望みます。

・ 梅里苑会計は、平成24年度7,900万円の改修費を計上して施設や経営を刷新する。今後、従来の赤字経営からの脱却を図ること。

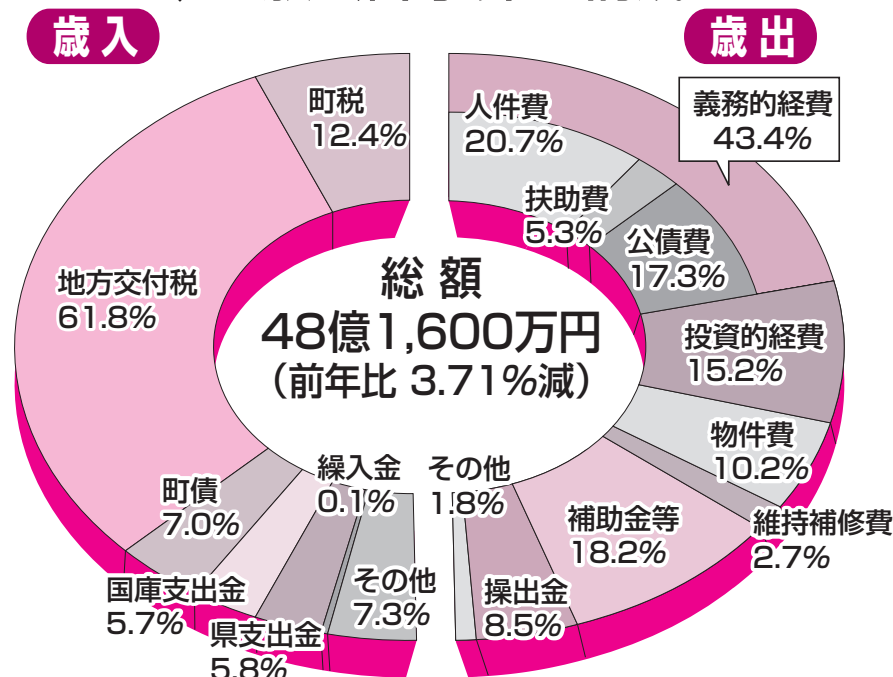
・ また、予算編成に当たり、事業の優先順位を明確にし、十分審査すべき点があったことを指摘します。

・ 介護保険会計は、改定年度で保険料の引き上げとなり、町民に大きな負担となる。介護予防事業等の強化により介護保険給付費の抑制に努めること。

・ 結婚応援事業の取組。

依存財源 地方交付税29億7,500万円見込む

一般会計予算の構成



問 人口減少、少子高齢化の対策が必要なか、雇用創出が出来ない現状で、小学校のエアコン設置2千数百万円の一般会計の持ち出しとテニスコート改修事業4300万円は今必要なのか。

答 町民課長
雇用創出は、秋山牧場の肉牛200頭飼養を目指すことにより、雇用が発生する。梅花苑も5月開業の運びとなった。

問 テニスコート改修は多くの町民の要望である。

答 町民課長
安楽城小14台、北部小14台、今本当に必要なのか。農業後継者の育成や雇用創出に使うべきではないか。財政の使い方としてどうか。

答 町民課長
エアコンは昨年から実施

全会計
24年度末の町債残高
町民一人あたり
94万1,700円を
見込んでいます。

※1 町の借金
※2 人口は平成24年4月1日のデータを使用
H24.3月末 8,993人

問 町民課長
当初予算で10台の計画に対し、現在18台の申請で補助金を決定している。

問 町民課長
来年度、事務所・店舗等にも拡大したいと思っています。

問 町民課長
真室川型の薪ストーブが開発できればと思う。

問 町民課長
他町村の子育て支援の内容は、

答 町民課長
出産祝い金・出生祝い金は、近隣では金山町、最上町、鮭川村、戸沢村で支給している。

問 町民課長
入学祝い金は、金山町、最上町、飯豊町、大江町で支給している。

問 町民課長
遺児教育手当てを支給しているところもある。

問 町民課長
用水路・砂防ダムでの小水力発電の考えは、

答 町民課長
当町の再生可能エネルギーは、木質バイオマスと小

水力発電だと思う。推進には、規制緩和と補助金の拡大である。

問 町民課長
規制緩和も、用水路の水力発電装置も進んでいる。

問 町民課長
県の河川、砂防ダムも水力発電を最初からつける施工にもなっている。今後水力発電にも取り組む。

問 町民課長
結婚応援事業報償費の内容と結婚相談員の人数は、

答 町民課長
1組に5万円、3組分計上している。仲人をして頂いた方に支給する。

問 町民課長
出来るだけ多くの方から応募して頂き、1組でも多くのカップルを誕生させたい。

問 町民課長
毎年1,000万円ほどの不納欠損金を出している。滞納分13%の収納は低くないか。

答 町民課長
平成22年度実績22%、平成23年度は15%の計上である。

問 町民課長
不納欠損の例は、住所不明、生活苦、多重債務等である。

答 町民課長
滞納分は低めに設定している。確実な予算確保を図